



鮎鮎荷を運ぶ小中学生と一緒に歩く参加者

9月23日、江戸時代に将軍へ献上する鮎鮎を運んだ街道を歩く「鮎鮎街道ウォーク」が開催されました。

秋晴れの下、岐阜公園から笠松みなど公園までの約9kmのコースを街道や鮎鮎の解説を聞きながら、多数の皆さんが歩きました。

笠松では、20人の小中学生がはんでん姿で鮎鮎荷を担いで歩きました。

江戸時代問屋場であった下新町の高島邸の前で、鮎鮎荷の受け渡ししゆくつきの「宿次」を再現し、みなど公園ではアユ雑炊が振る舞われました。

また、休憩所となった福社会館では、道徳のまち推進会議の「オレンジ日びり和」が行われ、お茶の接待や作品の展示などでおもてなしをされました。

宰領役で参加した笠松中学校生徒は「笠松の歴史を体験して嬉しかった」と話しました。

## 天然芝の多目的運動場がオープン

木曾川河川敷（江川）に、サッカー競技などができる天然芝の多目的運動場の全面改修が完了し、9月23日にオープニングイベントを開催しました。

式典では、関係者によりテープカットを行い、オープンを祝いました。式典終了後、FC岐阜の選手によるサッカー教室が開かれ、小中学生が真新しい芝の上で選手から技術指導などを受けました。



FC岐阜の選手に指導を受ける子どもたち

## 子どもを生き育てやすいまちを目指して

町では、国の「次世代育成支援対策推進法」に基づき、次代の社会を担う子どもを生き育てる子育て家庭を、地域や町などが協働で育成支援する「笠松町次世代育成支援地域行動計画」を策定し、「ともに育ち、ともに育てるまち かさまつ」を基本理念として、子育て支援の充実や各種の子育て支援事業を総合的・計画的に進めています。

### ◆◇平成24年度の主な進捗状況◆◇

#### 【職業生活と家庭生活の両立の推進】

子育て家庭が、安心して仕事と子育てが両立できるよう、地域におけるさまざまな子育て支援サービスの推進に努めています。

○羽島市・岐南町と協定を結び『はしま広域ファミリー・サポート・センター事業』を実施しました。育児の援助を行いたい方（提供会員）と育児の援助を受けたい方（依頼会員）が会員となり、会員相互の援助活動のコーディネートと情報提供を行いました。

○病児・病後児保育では、岐阜市・羽島市・岐南町に加え、新たに各務原市と協定を結び、広域で利用できるようになりました。

※町のホームページでも、「平成24年度の主な進捗状況」を公開しています。

【問合先】子育て支援センター

